

## 社会福祉

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩淵 光子 准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12時間
期間	前期		
単位数	1単位		

### ・学習方針（講義概要等）

人は病気になり医療を受ける際に心理・社会的な影響を大きく受ける。特に入院が必要となった場合には、家族・経済・就労といったさまざまな要因が当事者の生活に影響をあたえる。本科目では、疾病から人が受ける社会的な影響を検討し、福祉というセーフティーネットがどのように機能するのかを学ぶ。病気の部分だけに焦点を当てるのではなく、看護を学ぶ上で全人的な視点をもって人に接することを理解する。

### ・教育成果（アウトカム）

医療に加え、社会福祉の仕組みや役割を理解することにより、地域の人々を支える看護を包括的な視点で考えることができる。さらには、医療職だけではなく、福祉の専門職などを含めた多職種の役割や連携の重要性を理解し、説明することができる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 5, 6

### ・到達目標（SBO）

1. 日本における社会保障制度の変遷と特徴を説明できる。
2. 社会保障制度（公的扶助、社会保険、社会福祉）の意義と概要を説明できる
3. 生活保護における社会保障のしくみと内容を説明できる
3. 社会保険（医療保険、年金制度、雇用保険、介護保険）のしくみを説明できる。
4. 介護保険制度のしくみを説明できる。
5. 子ども・家庭、障害児・者、高齢者の各分野の施策の背景を理解し、どのような人に活用できるか説明できる
6. 社会福祉に関わる機関や職種の活動について説明できる。
7. 地域における福祉と保健・医療の連携の必要性を理解し、包括的な支援について考えを深めることができる

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/10	火	4	地域包括ケア講座	岩渕 光子 准教授	<p>社会保障制度と社会福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と生活保障・社会福祉との関わりを述べることができる。(ディスカッション)</li> <li>・社会保障の目的、機能を理解し、実際の活動とつなげて考えることができる</li> <li>・社会保障と社会福祉のしくみの特徴を説明できる</li> </ul> <p>事前学習：教科書 p.28-34 を読み、生活と生活保障・社会福祉との関わりについて、今までの経験から考えたことを 500 字程度にまとめ講義時に提出する。</p>
5/11	水	5	地域包括ケア講座	岩渕 光子 准教授	<p>社会保障・社会福祉の動向と地域福祉の展開 (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本における社会保障制度の変遷を理解し、特徴を説明できる</li> </ul> <p>事後学習：講義で取り上げた内容を復習する。</p>
5/18	水	1	地域包括ケア講座	岩渕 光子 准教授	<p>社会福祉のしくみと社会資源 (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉を担う組織（行政機関、民間組織等）と職種を列挙できる</li> <li>・社会資源を利用する意義を理解し、活用方法を説明できる。</li> </ul> <p>事後学習：講義で取り上げた内容を復習する。</p>

5/25	水	1	地域包括ケア講座	岩渕 光子 准教授	<p>対象別に見た社会福祉 (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・家庭、障害児・者、高齢者の各分野の施策を理解し、どのような人に活用できるか説明できる</li> </ul> <p>事後学習：講義で取り上げた内容を復習する。</p>
6/1	水	5	地域包括ケア講座	岩渕 光子 准教授	<p>公的扶助 (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護制度のしくみと内容を説明できる</li> <li>・生活困窮者対策の動向について説明できる。</li> </ul> <p>事後学習：講義で取り上げた内容を復習する。</p>
6/28	火	5	地域包括ケア講座	岩渕 光子 准教授	<p>社会保険制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金制度のしくみを理解し、給付の種類を説明できる。</li> <li>・雇用保険制度の役割を理解し概要を説明できる。</li> <li>・医療保障制度（医療保険、公費負担医療）のしくみを理解し、医療保険の体系を説明できる。</li> </ul> <p>事前学習：身近な人の年金制度、医療保険制度を調べてくる</p>
7/5	火	5	地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教	<p>介護保険制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度における要介護認定から介護サービスの流れを説明できる。</li> </ul> <p>事後学習：講義で取り上げた内容を復習する。</p>

7/12	火	5	地域包括ケア講座	岩渕 光子 准教授	<p>社会福祉と看護の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉と看護の連携する場を説明できる。</li> <li>・住み慣れた地域で、社会とのつながりをもって「生きる」ことについて考え、を述べることができる（ディスカッション）。</li> </ul>
------	---	---	----------	-----------	--

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障	増田雅暢、島田美喜、平野 かよ子 編	メディカ出版	2021
参	在宅現場の地域包括ケア	秋山 正子	医学書院	2016
参	「生きる」を考える	長江 弘子 編	日本看護協会出版 会	2017
参	国民の福祉と介護の動向 2021/2022	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2021

・成績評価方法

定期試験 70%、指定した提出課題 30%    合計 100%にて評価する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・参考書等を用いて事前学修を行うこと。また、授業を受けた後は該当する内容を教科書等で復習し、ポイントを整理して次回の授業に関する課題に取り組む。各授業に対する事前学修時間は最低 30 分を要する。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

- ・レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。
- ・試験のあとは、WebClass に必要な解説を掲載する。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

保健師（別表 1）：保健医療福祉行政論

看護師（別表 3）：専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	DVD（ブルーレイおよび一般DVD）再生機器	1	講義時資料投影